



**国見まちづくり株式会社
入社内定式が行われました**

道の駅国見あつかしの郷を運営する国見まちづくり株式会社の入社内定式が1月29日、観月台文化センターで行われました。

内定式では、太田久雄代表取締役が「内定おめでとうございます。一緒に頑張っていきましょう」とあいさつし、代表して阿部健人さんへ内定証書が手渡されました。

また、内定者を代表し、工藤義章さんが「道の駅スタッフとしての自覚を持ち、町の活性化へ向け、力になれるよう努力していきます」と誓いのことばを述べました。



**道の駅国見 あつかしの郷
グランドオープンまで
あと2カ月**

道の駅オープンに向けた取り組みをお知らせします。

**東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会を訪問**

太田久雄町長は2月2日、東京都虎ノ門の東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を訪問し、布村幸彦副事務総長と懇談しました。

懇談で太田町長は、道の駅国見あつかしの郷のオープンをPRし「訪日外国人の方にも立ち寄ってほしい」と述べ、積極的な支援をお願いしました。



ウッドスタート木育推進事業

平成28年に生まれた赤ちゃん43人を対象とした誕生祝い品の贈呈式が2月26日、観月台文化センターで開催されました。

式では、太田久雄町長から、町産杉材で作ったおもちゃが贈呈されました。贈呈されたおもちゃは「あつかしコロコロ」と命名され、木育木工セミナー参加者がデザインしたものです。阿津賀志山の曲線と国見の四季（モモの花、モモ、米、あんぼ柿）を表現しています。



『国見のたからもの』No.34

**伝統継承への思い
内谷春日神社太々神楽**



映像記録保存



演目復活への取り組み



子ども太々神楽教室

内谷地区に伝わる太々神楽は、明治15年に三春地方から師匠を招いて伝授されたと伝わっており、当初26座あったとされる演目は、中断した時期もあり現在では18座となっています。これまで内谷太々神楽は、楽譜や教本がなく口伝により伝承されてきました。保存会では、舞の映像を記録し保存することや、演じることがなくなった演目を復活させる取り組みを進めています。さらに、子ども太々神楽教室を開催し、多くの子どもたちが伝統文化に触れあうことができました。伝統文化を後世に残していきたいという確かな思いが地域の絆を強めています。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

～今月の表紙～



くにみひなの会による、つるし雛飾り展が大木戸ふれあいセンターで行われています。会場内には色とりどりのつるし雛が展示され、来場者の目を楽しませています。3月31日まで開催しています（水曜と木曜は休み）。

目次

- 2 目次
- 3 道の駅国見あつかしの郷
- 4 「保育所・幼稚園豆まき」「ママカフェ」他
- 5 国見ジュニア応援団解団式
- 8 通いの場
- 10 町からのお知らせ
- 12 復興のあしおと
- 13 まちのサークル（扇照会国見教室）
- 14 小さな天才たち（県北中学校）
- 16 まちのわだい
- 18 保健だより
- 22 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー